

八十二銀行のあゆみ

地域とともに築き上げてきた基盤を軸に、次なるステージへ

第十九銀行と六十三銀行の合併により1931年(昭和6年)に創立した当行は「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念に掲げ、日本の近代化を進める原動力となった長野県とともに歩んできました。

環境経営を中心としたCSR活動のトップランナーとして、国際社会の共通目標である「SDGs」の達成に貢献するため、2019年4月に「八十二銀行グループ SDGs宣言」を策定し、2020年6月に「八十二銀行グループ SDGs重点テーマ」を策定いたしました。

今後も「八十二銀行グループ SDGs宣言」のとおり、全役職員が主体的に地域の社会的課題の解決に取り組むことで経済成長に貢献し、地域の皆様とともにSDGsが目指す持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2020年

CDP2019(気候変動)で4年連続国内銀行界1位

世界の主要企業の地球温暖化問題への対応状況を評価する「CDP2019(気候変動)」において、4年連続して国内銀行界第1位となる「B(マネジメント)」評価を受けました。当行の強みである環境経営のさらなる深化を図り、引き続き業界をリードしていきます。



新築店舗は太陽光発電システムを設置する等、環境配慮型店舗としています

*CDPとは

気候変動、水、森林に関するリスク・機会の認識や、管理、情報開示を企業に促す国際的なプロジェクト。CDPIは500を超える機関投資家などと協力し、全世界で8,400社を超える企業に環境への対応や情報開示に関する回答を要請し、その取組みを評価し公開しています。

2010年



「新融資支援システム」の稼働開始

2014年



新研修所竣工

2020年
CDP2019(気候変動)
4年連続国内銀行界1位

2016年
社外取締役1名増員
(社外取締役2名体制へ・女性取締役1名選任)

2017年
「選任・報酬委員会」設置

2013年
社外取締役1名選任

2009年
「八十二の森」活動開始

2006年
社外監査役1名増員
(社外監査役3名体制へ)

2002年
ISO14001の認証範囲を
国内全部店に拡大(銀行界初)

2005年
環境会計
(平成16年度分)を
導入し、公表
(銀行界初)

2012年
「八十二留学生奨学金
制度」の創設

2001年



「じゅうだん会」システム共同化調印式

1991年



香港支店開設

1989年



新総合オンラインシステム稼働

